

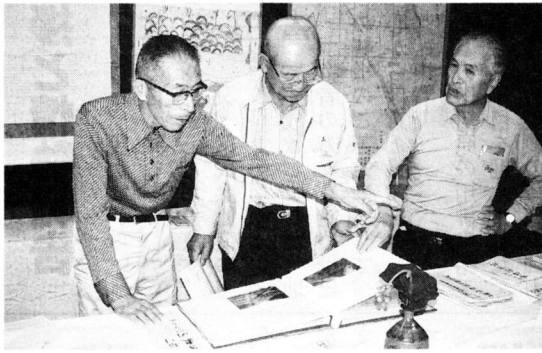
No. 42

1999

2月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
富田隆仁
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



下市田史談会の展示



一区高寿会民謡クラブのみなさん



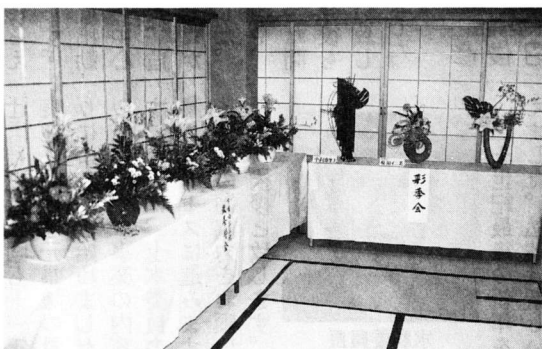
女性の目をひいた手芸品など



舞台発表に見入る招待者



陶芸作品には保育園児の作品も



萩の間の生花

盛況だった文化祭・敬老会

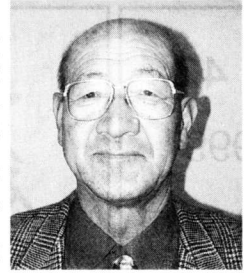
十月十七・十八日の二日間、恒例の下市田文化祭・敬老会が開催され、区民の

四人の皆さんが表彰を受けられました。

又、これに合せて二百人余りの参加者を前に区内の民謡や大正琴のグループの皆さんの舞台発表に加え、一区出身で藤原歌劇団の石原絹代さんのソプラノの特別出演や皿廻しなどの飛び入り、又、全員で「北国の春」などの合唱を行い、なごやかでしかも盛会のうちに敬老会・発表会を終ることが出来、帰りのバスに乗る招待者の皆さんも「よかった」を連発しながら家路に向いました。

又、十八日の午後には、下市田区内の七十歳以上の方々(六五一一人)を招待して敬老会が行われ、吉川町長外来賓多数臨席の中で、卒寿以上十七人、米寿十八人、喜寿三十七人、合せて六十

区長新春の挨拶と情勢報告



区長 富田 隆 仁

平成十一年の新春を迎えました。昨年は政治・経済・社会等々、いまわしい事件の多い年でした。本年こそ環境を守り、人を尊び、食を大切にす時代の第一歩の年に成ります様祈念致します。本年もよろしく御願致します。

区報発刊に当り区の情勢を報告致します。萩山神社の宝刀について、昨年長野県庁教育委員会文化財保護課の皆様の協力を頂き、全国四十六都道府県へ紹介して頂きました。各都道府県教育委員会文化財保護課主管課長殿(銃砲刀剣の有無について。刀剣名備前長船住人左近長光作、表名裏面公安三年八月吉日。長さ二尺三寸。以上依頼の結果、四十六都道府県中二十二県で調査不能。二十四都道府県で該当なし。)以上の結果につき連絡を頂きました。

した。残念ながらいっのりか戻る事を心から祈念致しております。

又、区民会館南の土地改良事業が本年を以て完成致しました。地権者の方々を始め役員の皆様のご苦勞に對して、心から敬意と感謝を申し上げます。

下市田河原の用排水路工事も三年目を迎えました。河原組合役員の皆様の御力に依り完成の見通しがついて参りました。成果が期待されます。

又、南大島川沿いのふる里農道湯ヶ洞線については、地権者、家屋移転の方々の協力に依りまして、昨年十二月末全員参加の総会の席上、法線等々につき全員同意がなされました。二月頃の本調印にむけ作業が進められます。順調に進行すれば四月以降、埋蔵文化財の調査作業が行われます。協力を頂きました皆様、心から御礼を申し上げます。下水道工事等々各地で施工されます。事故等充分注意して下さい。安全を祈念致します。



代議員会長 福澤 康 吉

下市田区の皆様、新年お目出とうございます。

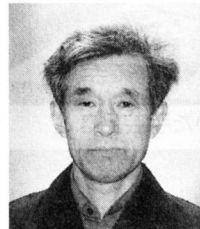
昨年の区規約改正で任期が三ヶ月延長され、再び愚文を書く羽目に成りました。近年町の中も大変かわって来ました。明神橋も新しくなりました。

委員長挨拶



監査委員長 市岡 治 男

私達三名は、年二回の定例監査の外、次のことを重点に行つて参りました。まず、区の財産台帳の整備(登記簿謄本、賃借契約書等)を行い、一目して分かるように致しました。



林務委員長 岡 本 孝

てほしいと言う声が大きくなって来ました。少しづつでも作り始めて頂きたいと思ひます。町民諸氏の協力で、一日も早く実現を望むものです。夢は多く有るのですが、一番大きな物です。代議員みんなの願ひです。

昨年春山を見回った時、あれもやりたい、これもやらなければと考えました。任期終りが近づいた今、山の中を見ると出来た事、出来なかった事が形となって現れております。山の管理は長いスパンで

又、備品台帳も整えましたので、それぞれのお立場で自主管理がし易くなったように思ひます。次に、永久保存をするものとして、各委員会に行動記録簿を備え、記帳をお願いしました。これは今後の運営に役立つものと信じております。以上言葉少なですが、区の発展をご祈念申し上げ報告とさせていただきます。



土木委員長 上 沼 俊 彦

考えた計画と時期をとらえた作業が要求されてます。この二年間区民皆様の出勤を得て間伐、枝打ちを中心に行つてまいりました。危険をとまなう作業でしたが無事終る事が出来ました。雪による被害の対策や、門松取りの今後等残った問題も沢山あります。今後とも御理解ご協力をお願い致します。有難うございました。

あけましておめでとうございます。区報発刊に当り二年間の事業を振り返り報告させていただきます。

私達委員は、地区計画に基づく道路維持改良、又安全施設舗装工事が、地権者の協力により施行出来る様取組んでまいりました。任期中には、幹線道路、大丸山線、参道線や他に地区計画の区内道路整備が計画通り施行完了する事が出来ました。地権者始め関係者に厚く御礼申し上げます。現在、ふる里農道、農免農道の計画も実現に向けて前進しています。国道B1

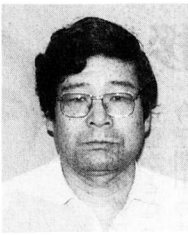


水利委員長 古 林 秀 美

辻信号設置計画も十一年度実施に向け地元県議の骨折りにより動き始めました。以上が、主な事業の内容です。今後は、土木委員の事業がスムーズに進みます様皆様方の御協力をお願いし報告と挨拶と致します。

二十世紀最後の新年を迎えました。私達は新しい良い環境を残したいと思ひ努力して参りました。御陰力で皆様方の深い御理解御協力を得まして用水、排水路工事も大分進行し特に四つの溜池(堤)についてしっかりと整備され綺麗な水を満々と湛えて、今後農業用水として活用され農業の繁栄を待っています。町の公共下水道事業も大分進み、数年後は家庭雑排水(雨水)雨水等が区別され、上流から下流へ整備され魚類・生物が、住み良くなり増加してくる新しい世紀に良い環境を残して、子供達が安心して川辺で遊べる様に、任期残一杯委員一同頑張つて参ります。

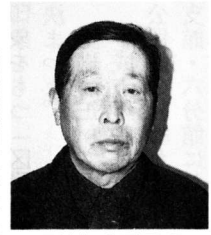
区民の皆様新年あけましてお目出とうございます。消防活動に付きましてはご理解ご協力を頂きます。



消防委員長
中村 敏彦

ひとりが認識を持ち、地球にやさしい環境にしましょう。

日頃環境衛生の事業につきましては、区民の皆様には大変お世話様になり、感謝申し上げます。町の事業計画に基づき、一般廃棄物の分別収集が主な事業です。私達の住む下市田地区でも、年間埋立ゴミ九四トン、資源ゴミ一四トンの排出をしています。そして、これらの廃棄物の焼却処理の段階で発生するのが、ダイオキシン類です。このダイオキシン類の環境や人体の健康への影響について、現在取りざたされています。今こそゴミに対して、一人ひとりが認識を持ち、地球にやさしい環境にしましょう。



環境衛生委員長
酒井 安雄

氏子の皆様方明けてお目出とう御座居ます。昨年は今世紀最後の御柱祭が執り行われ有終の美が飾られ立派な建御柱が出来、皆様方の神を信仰なさる貴いお気持ちと団結力に驚嘆しました。さて今年も元旦祭から始まり御案内「例年」の如く神事が滞りなく盛大に執り行われます様に氏子の皆様方の御指導と深い理解



氏子総代長
桃澤 利一

放水訓練では、貯水槽消火栓の点検、自動車軽便ポンプの点検をしながら下市田区より火災を出さない様にお願いします。今後共よろしく願います。

大変ありがとうございます。消防委員の活動は貯水池、消火栓及び格納庫、ホースの点検と増設、火の見やぐらの塗り替え等を各区の地区計画により順番に行っています。三期六年間区民の皆様にお世話になりましたが、まだまだ消火栓、格納庫、ホース等が、人口の割には多少すくないと思います。毎年行います年一回の放水訓練では、貯水槽消火栓の点検、自動車軽便ポンプの点検をしながら下市田区より火災を出さない様にお願いします。今後共よろしく願います。



芸能保存会監事長
仲平 清

解御協力を頂戴致し、靈驗あらたかな産土様、そして貴重な文化遺産を保護しつつ事業運営致して参り度いと思ひます。宜敷御願ひ申し上げます。

あけましておめでとうございませう。芸能保存会の運営に御協力賜り厚く御礼申し上げます。下市田には古くから荒神社を中心にして祭りや余興が行われており、祭事は安養寺とのつながりも深く、江戸時代中期以後は、観、絡線などの余興もあり、多くの参拝者で賑わい、元文五年（一七四〇）の祭典には獅子舞が舞った記録が有る。獅子頭舌裏の年号や、安養寺過去帳より判明した平成八年二百年大祭、その折には、大変お世話に成りました。現在、大祭記録誌を編集中です。完成しましたら、皆様に御覧いただきます。萩山芸能保存会は下市田区民全員が会員であり、運営は規約を中心に会費、補助金、町及び区等で運営を行っております。

平成10年度 下市田区一般会計前半期決算報告書

(平成10年4月1日～平成10年9月30日)

収入金計 27,207,073円
支出金計 17,673,463円
差引残高 9,533,610円

I. 【収入金の部】

項 目	予算現額	決算収入額	比較(予算・決算)
1. 区 費	15,780,000	6,316,690	9,463,310
2. 繰 入 金	1,510,000	0	1,510,000
3. 町 支 出 金	3,890,000	8,319,987	- 4,429,987
4. 財 産 収 入	1,680,000	855,350	824,650
5. 寄 付 金	200,000	405,400	- 205,400
6. 消防義務金	2,500,000	2,660,000	- 160,000
7. 諸 収 入 金	1,030,000	237,664	792,336
8. 前期繰越金	5,300,000	8,411,982	- 3,111,982
収入合計	31,890,000	27,207,073	4,682,927

II. 【支出金の部】

(単位 円)

項 目	予算現額	決算支出額	比較(予算・決算)
1. 総 務 費	12,430,000	4,868,382	7,561,618
2. 環境衛生費	510,000	105,000	405,000
3. 林 務 費	870,000	384,597	485,403
4. 土 木 費	4,560,000	5,945,634	- 1,385,634
5. 水 利 費	730,000	2,844,770	- 2,114,770
6. 消 防 費	2,700,000	815,800	1,884,200
7. 公 民 館 費	3,010,000	1,500,000	1,510,000
8. 予 備 費	7,080,000	1,209,280	5,870,720
支出合計	31,890,000	17,673,463	14,216,537

平成10年度 下市田公民館中間決算報告書

(平成10年4月1日～平成10年9月30日)

収入の部

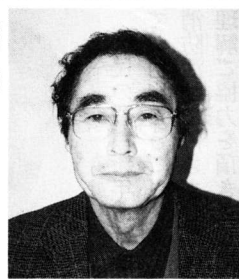
科 目	予 算 額	既 収 入 額
1. 繰 越 金	170,000	220,265
2. 繰 入 金	3,010,000	1,500,000
3. 補 助 金	900,000	1,175,770
4. 雑 収 入	1,000	330
合 計	4,081,000	2,896,365

支出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	既 支 出 額
1. 総 務 費	1,943,000	1,059,731
2. 教 養 部 費	1,154,000	593,622
3. 体 育 部 費	553,000	162,768
4. 視 聴 覚 部 費	278,000	219,309
5. 図 書 部 費	107,000	60,000
6. 予 備 費	46,000	34,950
合 計	4,081,000	2,130,380

公民館長挨拶



下市田公民館長
大屋敷 清利

任期の終了まで後僅かとなった。今任期中の特徴的な事を総括してみる。

公民館改築

区民会館に
平成九年三月、

全町の中で役員の任期切り替えが、十二月末は下市田だけであったが三月末となった。

体育事業の新しい方向

年二回のスポーツ大会を改めて「軽スポーツの集い」と「下市田ぐるりウォーキング」を実施した。これは従来のスポーツ競技をレクリエーション的な方向へ踏み出した大きな転換である。スポーツ競技的なものも問題点が出てくるが、やめてしまおうでなく残しておきたいし、誰でも自由に参加できるレクリエーション的な方向も取り入れたい。町では従来のスポーツ的なものを継続しているから、区がレクリエーション的な方向へ踏み出せば両輪となり問題点を補いあって良い方向へ向かっていくものと思う。

組織改正

平成十年四月から下市田公民館の組織が変わり、一支部・六分館になった。

下市田公民館 各部長挨拶



教養部長
松岡 修二

教養部、最初の会合での話し。聞けば過去この部は会への出席率がいつも九〇%以上だと。エー、ウッソー／えらい部を受けちゃったネー、オラー達に動まらるか。今さら後には引けんし頑張ってるしからねえ、と不安顔の十二名。教養講座に始まり町議さんとの懇談会、萩の里祭り、カラオケ大会、文化祭り・敬老会、日夜せっせと区民会館に通いました。苦業を共にし力一杯がんばって：ヤッター／いま皆大満足。アッという間の一年、そして任期の二年がもうすぐ終わります。多くの方々との出会い、思ひ出、宝物がイッパイです。



図書部長
松澤 重利

新年明けましておめでとうございます。昨年中は図書部の活動に御協力頂きありがとうございました。本年もよろしく願い致します。図書部の活動として、貴重な図書の管理と月一回図書の貸し出しをしています。今の時代、生活の中心がテレビゲーム・インターネット・パソコン等に移っている為か、なかなか図書の利用

が増えて来ません。今年も新刊を購入し、昨年と同様に活動をしていく計画です。一人で多くの方の御利用をお願い致します。



視聴覚部長
松沢 正昭

新年お目出とうございます。任期延期で残り三カ月ですが、宜しく願い致します。二年間の活動を振り返り

編集委員会 だより

は見られない光景にいつまでもこのままでいてほしいと思ひました。

帰りにオリンピックでにぎわった奥志賀高原の広い道路を通り、立ち並ぶ洋風のすばらしいホテルを眺めながら帰って参りました。



下市田区 第15回 カラオケ大会

カラオケ大会に
参加して

須田広幸



五区の部落長直々にお願
いされ、断わる理由も見つ
からなかったの思いきつ
て引き受けた「カラオケ大
会」出場。どうして俺が…
」と思いつつも、結果的には
本番までの間選曲した曲を
何度となく風呂場で子供達
に聞かせ、又、カラオケボッ
クスにひさしぶりに出かけ
て本番さながら熱唱してし

下市田区、視聴覚部、教養部の合同による、第十
五回下市田カラオケ大会が、去る九月二十八日(出)
区民会館に於いて行われました。

各代表の方々の熱唱の他、大勢の飛び入りの方等
加わって、盛大な大会になりました。

審査の結果、次の方々が入賞されました。

◇カラオケ大賞 昨日の女……須田広幸 五区

◇歌唱賞 灰色の季節……三井貞子 一区

◇努力賞 ラブイズラブ……岡田光信 二区

◇熱演賞 北の旅人……原 勝夫 三区

もう始末でした。

何度となく歌い慣らした

せいか、本番ではさほど緊

張はしませんでした。それ

どころか、我が子から花束

をもらってちょっといい気

分を味わった位でした。

結果は優勝!!しかも五区

は昨年に続いての優勝で、

本当に感無量でした。

カラオケ大会に

参加して

三井貞子

カラオケ大会参加のお話

があった時、私には無理、

何とか良い理由をみつけて

お断わりしなければと考え

ましたが、結局まなならず



お受けする事になってしま

いました。三分足らずの事

まア何とかなる気楽に考え

よう。と腹を括った私です。

ところが当日緊張のあまり

朝からお腹の調子は悪くす

るし。そうなると思いきや

りただけでした。始まっ

てみると会場内は和気藹々

としたもので、参加された

方々の楽しい歌、踊り等。

私もそこに居られた事を良

かったと思えました。わざ

わざ来て下さった皆さんあ

りがとうございました。

敬老会に

寄せて

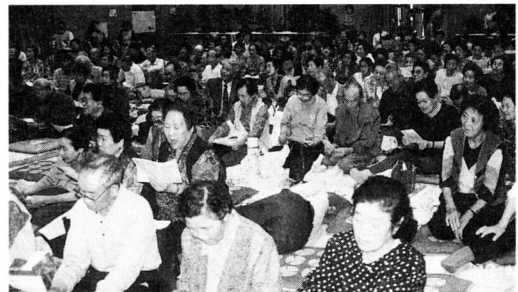
松村 稔

此の度、区公民館婦人会

による敬老会のご招待を頂

き盛大な敬老会に大変楽し

いひと時を過ごす事が出来



してお手厚い犒いの言葉を

かけて下さり到れり尽せり

の歓待をうけ、今日こうし

て生かされてこの果報の巡

りに感謝感激し多くの皆様

方と一日を愉快に楽しく過

ご事が出来ました。ほん

とうに有難うご座居ました。

敬老会開催に当りお骨折り

下さった皆様のご労苦に

対しまして心から厚く御礼

申し上げます。これからは

先ず健康第一、そして微力

ながら世の中のために自分

の力の範囲で出来る事があ

ればと念願して居ります。

痛む膝忘れて楽しいひと、

きを

祝宴に演芸見事花をそえ。

眼ざめれば朝だ明るい有難

文化祭・敬老会を顧みて

|| 教養部 ||

台風の接近が心配される
中、十月十七日・十八日、
恒例の下市田文化祭・敬老
祭が開催されました。

十七日は作品展示会が行

われ、書・絵画・盆栽・編

み物等の作品が展示されま

した。闊達な書や墨絵、絵

画の作品、一針一針心を込

めて作り上げた編み物の大

作、珍しい実物の盆栽など

目を引く作品ばかりでした。

陶芸クラブの作品の中には

下市田保育園児のかわいら

しい作品や、教養部員によ

る生け花の展示など年配者

から保育園児まで幅広い層

の作品が展示されていまし

た。十八日は、台風一過の

青空に変わり、町長さん初

め来賓の方々を迎え盛大に

敬老祭が催されました。松

岡教養部長の軽妙な司会で

舞台発表が進み、大正琴・

民謡など多岐にわたる発表

の続く中、藤原歌劇団のソ

プラノ歌手石原絹代さんの

透き通るような歌声や、勇

壮な八丈太鼓の響きに心が

踊りました。また全員合唱

では、北国の春、信濃の国



会場が一体となって歌う

場面もあり、愉快的な皿廻し

の飛び入りなどバラエティー

に富んだ発表会でした。

また戸外では体育部主催

の下市田ぐるりウォーキン

グなどの催し物に多くの参

加者がありました。茶道部

の心鎮まる温かい接待もあ

り、「新しい区民会館がで

きて初めて来たけど素晴ら

しい区民会館ができたなあ。」

「楽しい文化祭だなあ。」と、

感想を語り合う参加者で賑

わっていました。

五区紹介

五区分館長 小島俊孝

い所です。
地域の拠り所
としての会所は
昭和六十三年に
全面新築され、生活センター
として活用されています。

五区は国道一五三号線とJR飯田線を挟み下市田の南端に位置し、南大島川を境に飯田市座光寺と接し、常会数は七、隣組数は一八、戸数は一四一、アパートは五棟、アパートの世帯数は二三、独立世帯数は三、合計一六七戸からなっており、近年人口は増加傾向で比較的交通の便もよく、とても温暖で住みよい。年間コミュニティ事業を紹介しますと、体育事業は九月にスポーツ大会を南小を借り実施しています。内容は午前中グランドゴルフを子供達を交え、老若男女が任意にペアを組み夫々に技を競い合い、珍プレーの演出で楽しいプレーをしたのち、昼食は各常会毎に分



五区地籍にある塚です。他に
日限地蔵も近くにありますが。

地域の紹介

出砂原の近況

六区分館主事 水野忠男

今ダサラ地
区では、厚生
連下伊那診療
所の増築工事が進められて
います。今迄の診療所の後
側に四階建ての建物が建設
されています。

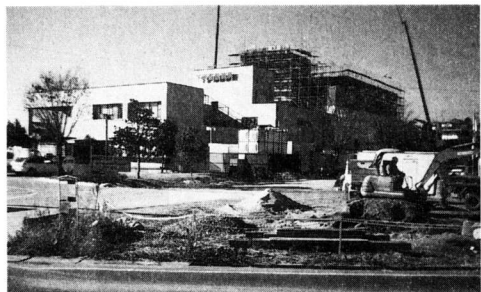
この四月には診療科（内科・小児科・外科・婦人科・眼科・リハビリテーション科）で、病床数五十床（四床部屋十室・一床部屋十室）のJA長野厚生連「下伊那

足させて、高齢化社会に対応するため病院に隣接した所へ福祉施設をと言う事で新春より「高森町に福祉施設の新設置と介護の充実を求める請願書」の署名運動が

行われています。
この跡地利用については
前々から、福祉のための諸
施設に利用して欲しい、又
せめて一時預かりの施設は
すぐにでも作って欲しい等
の声がかかれました。

この要望が実現すれば、
福祉医療の拠点となります。
皆で声を大にして町へ働き
掛けたいものです。

ダサラ地区としても近年
は全盛期（昭和五十年代）
より八十世帯以上の世帯数
減少と商店数減少が目立ち
ます。病院ができて職員の
増員や入院患者増で見舞い



の人の往来が多くなり地区
又商店街の活性化につなが
れば幸いと思います。

ふなやとテント村から

分館長会長 甕

三郎

第十八回たかもりふるさと祭りが、快晴の十一月十四日・十五日の二日間、中学校グラウンドと役場駐車場、盛大に開催された。広場は終始大勢のふれあいであふれていた。

市田は二日間千五百杯の無料サービスをした。店先の立看板と片端の幟旗に一目瞭然と、下市田おしるこ無料サービスが目に入る。お年寄りから、子供までこの場でふれあいをしていただとうれしい。

下市田以外出展地区

吉田地区 甘酒無料配布
牛牧地区 おやき販売他
竜口地区 コキ餅餅他
大島山地区 瑠璃寺ビデオ
新田地区 虎舞の展示
ミュージカルビデオ上映
育苗会 パンジー無料配布
本部 花壇コンクール



下市田自慢のおしるこサービスは、昨年経験のコミュニティ委員中心に、婦人ふるさと、分館長主事が加入八名のチーム三班を編成、それぞれの班が半日受け持ち五百杯ずつ出店した。美味しい美味しい大繁盛にスタンプもおおられていた。時々列も出来たり、二度目だという人や汁だけの人も来た。スタンプも時々作業を交替したり、休憩をして無理のないように楽しくふれあっていた。

北海道に根をおろして

三区出身 柴田 保彦

(北海道旭川市在住)

故郷を離れて四十年が経ちました。療養の為帰国した父に代って昭和十九年棄土の満洲に渡り戦後暴徒化した現地人に追われ乍ら五十数人自決した修羅場の逃避行から二十一年に引揚げて来ました。農高を出て代用教員一年、居候四年昭和三十一年望んでいたアメリカ

下市田のみなちん



下市田の皆さまへ

四区出身 榎原雅美

(千葉県市川市在住)

大正末期に下市田四区で生をうけて以来、戦前戦中戦後の日本の歴史の中で、

過去に苦しい体験や厳しい訓練があればこそ全てのものに感謝の心を生かすことができるのだと思います。

例えば懸案でありました東京都を中心とする一都七県の関東地区在住者による高森会が、会員相互の親睦



最も激動と波乱の時代を生き抜いて来ました。楽しかったこと、辛かったことなど数々の思い出が脳裏を駆けめぐります。

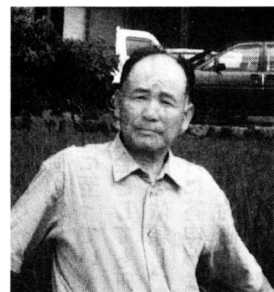
と郷里高森町との交流を深めることを目的として、全国に先駆けて結成されてから早いもので十周年を迎えました。会員数も五百余名を数えるなど、着実に発展しており、これ偏に、わが故郷のみな様のお力添えによるものと感謝しています。

今や関東には沢山の「ふるさと会」がありますが、わがふるさと高森町と高森会との結合体の素晴らしいは他の何れの会にも、みられない誇りであります。

西に聳ゆる高森山を仰ぎつつ、日本三大急流天竜川の清流に遊ぶ。私たちはそれらの川や山での少年時代のなつかしい追憶を共有している喜びがあります。そのことを共に語り合える幸せを、この高森会を志として大切にしたいと思うこのごろです。

四季折々の豊かな自然に恵まれている下市田のみな様方が健康で日々心豊かな人生を送られますよう念じてやみません。

(木村善美さんの兄)



で発展しています。最近故郷を訪れる機会が増え、かつて原畑と云った火葬場や小学校周辺の変貌に驚きを感じています。年頭に寄せられた川路の友人の便りには浜松に抜ける三遠南信道を来て家の移転に買収に騒がしくなってきたとのこと、又故郷は変わりましたね。伊那山脈の向うに見える隠れする南アルプスの湯ケ洞からの雄大な景観は拓けても変らない故郷の山河のよさを感じ十二月の二十日前後に店頭にお目見えする市田の干柿に郷里の思いが甦ってきます。

(坂牧義夫さんの弟)

下市田ぐるりウォーキング

体育部 松島 たか子

体育部の行事として初めてぐるりウォーキングを計画しました。十月十八日区民広場に集合し、三区地下道→「終」県指定天然記念木→「えのき」近く(町に二本)→惣兵衛堤防の歴史↓二区畑中古墳↓Aコープ横地下歩道↓力行会館の予定で史談会の方の説明で行うはずでした。

当日雨のいたずらで、一度は中止を考え史談会の方の協力で展示を説明して頂いていた処、青空が見え出したので実行にふみ切りました。ウォーキングのコースを回る人、豚汁を作る人に別れ、それぞれの役割で仕事にかかりました。私達は、豚汁の係でしたので急いで買い物をし、野菜を切り煮るとあわただしい中、美味しく出来あがりました。

一緒に歩けませんでしたが、予行練習の時に歩いて、今迄知らなかった史蹟を見たり、一時間以上歩くという事がなかなかなく、うっすら汗をかき体がすっきりして、気持ちのいい大変良い経験をしていました



老いてスクラム

二区 小池 正春



バブルの崩壊、ビールを振って高い所からコップに注げば泡ばかりで底には液体がわずかに残るだけ。そのわずかに残った液体が二十世紀末の日本経済であり世界経済であったと思う。泡が消えて見れば所詮、絵に書いた餅、食われはしなかっただけのこと。

橋本内閣は、泡が消えた液体の実質経済に戻そうとした。ところが外圧に屈して小淵内閣となり、景気回復と称して、公共事業費増額、消費拡大、統生産のため消費を人口的に刺激する社会は、屑や、無駄の上に作った砂上の楼閣の縛めを尻目に、十一年度国の一般会計予算八十一兆八千六百一億円、国債依存度三七・九%、欧米諸国は二〇%以内と聞く、なのに泡の夢からまだ覚めない膨大な天井知らずの借金経済政策を執

るに至った。この膨大な借金予算を組みながら、地方交付金は一五%削減という、泡のはじけた今日、まだまだ削減することを覚悟しなければならぬのが現実。現在の少子高齢社会、バブル期の金に頼った福祉は今や望むべきもない。幸い今日、高齢者と言われる層の人々は、少年期、青壮年

期を、下市田の一区であれば積善会、二区であれば共励会、三区は力行会、又、双葉会と言うように、それぞれ地域の中で手を結び、肩を組み合って励まし合った時代を生きて来られた人達、今、その尊い経験が再び生かされる時が来た感じが強い。お互いが知恵と力を出し合って、身も心も健康で力強いスクラムで生き抜きましょう。

随

想



みんなで考えよう旧下市田学校

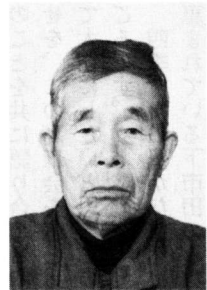
四区 原 次郎

旧下市田学校は、下市田の教育文化の礎となっていた。この建物は、明治二十年初期の貴重なものであり下市田保育園建設の折りに撤去が検討されたが、有志の皆さんの意見で保存会を結成し、募金を行い、施設の最小限の補修を実施し、保存に努めてきました。昭和五十六年には町の文化財に指定されました。

又、施設の活用面でも教育資料の収集展示に努力してきました。しかし、老朽化した施設の補修も限界があり、活用面でも当初計画の実現を見事なく今日に至っています。教育委員会としても研究委員会に検討を依頼し、平成四年十一月に答申がなされ「建物の文化的価値から現状のままで、建物の最

生と死の間より

五区 北原 民男



私が県蚕試に勤めていた時、経験した恐ろしかった思い出を記して見ようと思います。

昭和三十五年ころ春蚕前の試験に使用する桑を横にし、ビニールを掛け三つのハウスで芽の促進を始めました。三月二十八日ころ急に温度が下がって中へ炭火

低限の強度面の補修を行い、保存に努力され自然に朽ちるのを待つのではなく、何時かの時点で改築復元を行う事」となっています。

その後、保存会員が高齢化で減少し、会の維持が困難となり、町へ管理運営を要望し、平成六年六月に保存会を解散し、教育委員会と有志による愛護会で維持されているのが実情です。

町としても貴重な文化財であるため、今回の資料館の増設に併せ保存を検討した

今から小川昌成先生の業績を併せふり振り返りながら、区民みんなで考えるべき大事な課題と思われれます。

を入れ、朝まで中に入り込んで宿舎にいた土屋さんを引き起こし二人で宿舎へ運び、今村さんが山路さんを迎えるに走ったが足がすくんで走れなかったとの事でした。山路先生が来て注射を打ってやっと意識が戻ったわけですね。後で山路先生が現地を見に来て二時間発見がなかったら駄目になっていたらかも？と話しておられたとの事。

私たちは真実に運が良く紙一重で助かり、命の尊さを知りました。私の人生の大きな節目となり、一日生きられる事に感謝をして生活しております。



旧下市田学校

野 球

小六 今川 裕貴 (一区)



前列左はしが裕貴くん

ぼくは、スポーツ少年団の南野球部に入っています。ぼくが、野球を始めたのは、三年の終わりのころです。ぼくは五年の始めに名古屋から転校してきました。野球部に入ったのはその時でした。入った理由は、指導者の人、つまり監督がついていたからです。もちろん

演劇部に入って

中一 熊谷 真紀 (三区)



左が真紀さん

私は、部活で演劇部に入っています。私が演劇部に入ったのは、先輩達がやって見せてくれた劇を見て、私も役を演じてみたいと思ったからです。今まで演劇部でやってきて、入ってよかったと思っています。約一年間やってきて一番の思い出は、伊那谷文化芸術祭です。高森中の演劇部では、「鳥たちの歌」をやりました。

わたしの作文
ぼくの作文

ん、野球が好きだったこともその一つの理由です。名古屋にいたときは、一人がかべ当てをしたり、父とキャッチボールをしたりしかでき

私は照明でしたが、照明はそのスタッフがやってくれたので、音響や大道具の手伝いをしました。やってる時は、みんな一つになれ一生懸命できてよかったです。人数が多いのでみんな一つになるのはむずかしいけど、みんなの気持ち

ませんでした。そして、初めての練習の日がきました。野球部には十四人のチームメイトがいます。だから、練習でもチームメイトといっしょにキャッチボールなどが楽しくできていいです。監督もとてもいい人です。ノックは少しきついけれど、練習はとても楽しいです。

練習試合をしたり、大会に出たりもします。ぼくは、サードを守っています。大会などではたまにエラーをしたりして、点が入ってしまうこともあります。でもチームメイトがすぐに点を入れてくれます。とてもいいチームメイトです。大会で優勝した後は焼き肉をしたりします。とても楽しいです。

中学に行っても野球部に入って、がんばって続けて行きたいと思っています。そして、初めての練習の日がきました。野球部には十四人のチームメイトがいます。だから、練習でもチームメイトといっしょにキャッチボールなどが楽しくできていいです。監督もとてもいい人です。ノックは少しきついけれど、練習はとても楽しいです。

今年の誓い

小五 小林 俊亮 (六区)



俊亮くん

一月六日に、門松集めをしました。ぼくは、家の周りの門松を集めました。松の葉がチクチクささって、とても良かったです。美好さんの所に、大きな門松があったので、すごいと思いました。集め終わったら、天竜川へ行きました。天竜川へ行ったら、ぼくが集めた門松の何十倍もあるし、ダルマも、大きいのが、小さいのが、沢山あって、びっくりしました。そして、ちょうど心棒を立てていました。ぼくは、初めはほとんど遊んでいただけで、そのうち、落ちていた松を入れたりしました。

放課後に発声練習と筋肉トレーニングをしています。発声練習も、始めたときは小さい声でしたが、今では大きな声でしゃべれるようになりました。もうすぐ二年生になるので、先輩ができます。いっしょにがんばっていききたいです。

した。昔は河原にテントをはって、泊って守っていたそうです。ぼくも、友達といっしょに泊れたらなあと思います。そして、次の朝、五時四十五分ごろ、真っ暗な中を出ていきました。ぼくがついたところに、火がつけられました。油をしくんでいたもので、すぐ、大きな炎になりました。ささの葉が燃えたら、心棒がめだちました。横風がふいていたので、炎がなみのようにおしよせてきました。ぼくはその炎を見ながら、誓いを立てました。それはスボ少の野球をがんばる事です。今年は六年生になるし、ぼくの年なので、がんばってやっていきたいです。そして、優勝したいです。



グループ紹介

やよい会

二区 松島栄子

早いもので、やよい会は発足以来、二十数年が経ちました。

一、第三月曜日が練習日で、現在七名が力を合せて仲良く楽しく続けて来ています。以前にもっとと多人数の時もありましたが、今までこうして続けてこられた事は家族の協力があったからこそ出られるのですから、お陰さまですとおりがたく感謝致しております。

の由来は、桜の蕾が、ぼつぼつくらむ三月弥生の頃ある所に結婚式があり、民踊をやるとういうことになりました。森谷先生をお願いして参りまして、その時がきっかけとなり、毎月第

う時は皆で一生懸命になり頑張ります。昼間は働いて疲れていた体も、練習しているうちに、だんだんとほぐれてきて、疲れもとれてしまう程です。

年間二、三曲位新しい踊りを教えて頂き、

手を上げたり、かざしたり足をふんばったりして力がはいります。せっかく習って覚えた所が二週間経ちますと、すっかり忘れてしまいい、又、始めから教わる始末です。先生の見えない練習

習日をつくって、お互いに教え合ったり、なおし合ったりして励み、発表会が済みますと、やれやれと肩の荷が下りた様に楽になり、皆で頑張ったやりとげたという清々しい充実感を味わ

下市田四区革手芸クラブ

四区 木村敏子

私達、四区革手芸クラブは、平成九年三月から有志の呼びかけで始めました。現在十五名の会員で月一度第二月曜日に、生活改善センターでやっております。

ご指導下さる先生は、四区にお住いの唐木先生です。月に何回も東京に出向いて勉強され、ご多忙な毎日をお過ごしようです。そんな中を二時間手芸を教えて頂くのですが、皆さん時間の過ぎるのも忘れ夢中です。今までに仕上げた作品はキーホルダー、ブローチ、

手提げバックなどです。今はお財布を作成しておりますが、手順としては、革に型紙を当て裁断して、模様をつけて革の上を道具を使い木づちで凸凹がでるようにたたいていきます。そして筆などで色を塗って行き

革手芸をやってみますと、先生も言われましたが、やればやる程奥深い物があります。本当にそうですねと皆さん頷いて



おりました。次に何を作るかが楽しみです。近所でも話す事の少ないこの頃ですが、ストレスの解消にもなり、雰囲気も和やかで長く手芸を続けたいです。

編集後記

景気低迷の中で新年を迎えたが、卯年にあやかっ飛躍の年になることを祈るや切なるものである。

今号は、区の役職関係の任期切り替えが三月末になったので任期中のことを締め括る意味で十二月発行を二月に切り替え、それぞれの代表からご挨拶をお願いした。また、前号以後の行事、カラオケ大会・文化祭り・敬老会・町のふるさと祭り・テント村への出店等を掲載した。

隔年シリーズの「故郷へのたより」は、郷土出身の方々の活躍を知ることができてうれしい。

その他シリーズの「地域紹介」「グループ紹介」「随想」「わたしの作文・ぼくの作文」には、ご多忙の中を原稿をお寄せいただき感謝している。

私たち編集委員も二年間六回目の発行をもって任期を終了する。ずぶの素人が寄り集まってだが、先輩の後を追いつ投稿者また区民各位のご協力によって任期を全うできたことを感謝してペンをおく。